

イエスカルタ[®]による治療を受ける 患者さんご家族へ



監修：北海道大学病院 血液内科 教授 豊嶋 崇徳先生










はじめに

イエスカルタによる治療では、患者さんの血液から取り出したT細胞を、がん細胞を攻撃しやすいように作り替えて、患者さんに戻します。

イエスカルタによる治療の際には、重篤^{じゅうとく}な副作用が起きる可能性がありますので、この冊子では患者さんにご家族向けに、イエスカルタによる治療についてと、特にご注意いただきたい副作用や注意点などを解説しました。

わからないことや気になること、不安なこと、確認したいことがありましたら、遠慮なく医師、看護師、薬剤師にご相談ください。

CONTENTS

 大細胞型B細胞リンパ腫とは	3
 免疫療法について	4
 イエスカルタについて	6
 1. イエスカルタによる治療スケジュール	8
 2. イエスカルタによる治療	9
1) イエスカルタによる治療を受けることができる方	
2) イエスカルタを製造する前の準備	
3) イエスカルタ投与前～投与後	
 3. イエスカルタの副作用	12
1) サイトカイン放出症候群	
2) 神経系事象	
3) その他の注意すべき副作用(感染症/貧血/出血/腫瘍崩壊症候群)	
4) その他の注意すべき事象(二次性悪性腫瘍)	
 4. 日常生活での注意点	16
 イエスカルタ連絡カード	17
 神経系事象の早期発見のために	18

大細胞型B細胞リンパ腫とは



●リンパ球のがん

だいさいぼうがた

大細胞型B細胞リンパ腫は、白血球の一種であるリンパ球のうちB細胞(5ページ)が、がん化することで起こる血液のがんです。がん細胞となったB細胞は、リンパ管を通じて全身をめぐる、リンパ節の多いところ(首、腋の下、足の付け根など)に腫れやしこりのようなものを作ります。多くの場合、痛みはありません。しこりは、一般的にはリンパ節にできますが、脳や臓器などにもできることがあります。

ディーエルビーシーエル

大細胞型B細胞リンパ腫のうち多くみられるタイプが、DLBCL(びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)です。「びまん性」とは、組織全体に均一に増殖して広がるという意味で、がん化したB細胞が組織全体にはびこるように広がるDLBCLは、病気の進行が月単位で進む中悪性度のリンパ腫です。

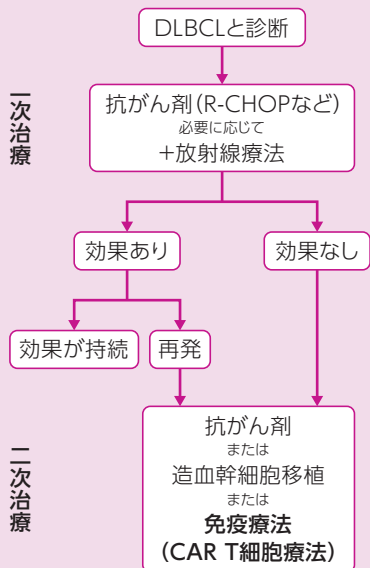
●治療について

はじめてDLBCLと診断された場合の標準治療*は、R-CHOPなど複数の抗がん剤を組み合わせた治療です。病状や患者さんに応じて、それに放射線療法が加わることもあります。

抗がん剤による治療の効果がみられなかったり、効果がみられても再発してしまった場合は次の治療を行います(二次治療といいます)。二次治療以降の治療には、別の抗がん剤治療や造血幹細胞移植、CAR T細胞療法が検討されます。CAR T細胞療法は、免疫療法のひとつです。

* 標準治療とは科学的根拠に基づき、現在利用できる「最良の治療」であることが示され、多くの患者さんに行われることが推奨される治療のこと

治療の流れ(DLBCLの例)



免疫療法について

● 血液がんの新たな治療法のひとつ

血液がんの治療法には、従来から移植や薬による治療（抗がん剤）があります。近年、新たに免疫療法という治療法が加わりました。

- 1 移植*: がん細胞を抗がん剤で攻撃した後に正常な血液の基となる細胞を投与する治療法
- 2 抗がん剤: 薬によってがん細胞を攻撃する治療法
- 3 免疫療法: ひとの体に本来備わっている免疫の力を活用して、がん細胞を攻撃する治療法

免疫療法の種類は増えつつあり、CAR T細胞療法もそのひとつです。

なお、他に放射線療法なども行われます。

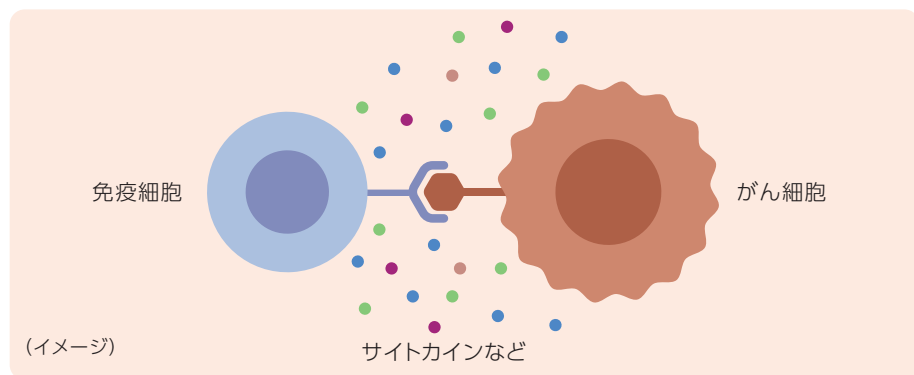
* 血液がんでの移植とは、造血幹細胞移植のことであり、輸血のように静脈内に投与されます。

● 免疫のはたらきによって異物を排除し体を守る

免疫とは、細菌やウイルスなどの異物が体に入ってくるのを防いだり、入ってしまった異物を排除したりする体を守るしくみのことです。




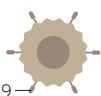

体内にあるがん細胞も異物と認識され、免疫細胞（5ページ）による攻撃が行われます。

免疫療法は、この免疫の力を活用してがん細胞を攻撃する治療法です。



●免疫細胞の種類と役割

免疫の中心的な役割を果たす免疫細胞には、単球・マクロファージ、好中球、樹状細胞やリンパ球などがあります。そのうちリンパ球には、B細胞やT細胞などがあり、異物を攻撃する役割を担っています。特にT細胞は、がん細胞を攻撃して排除するという、免疫において重要なはたらきをもっています。

細胞の種類		役割
単球・マクロファージ		体に入ってきた異物(微生物など)を食べて分解・消化し(貪食)排除します
好中球		体に入ってきた異物(細菌やウイルスなど)を貪食し排除します
樹状細胞		他の細胞が貪食した異物などの特徴をT細胞に伝えて、排除を助けます
リンパ球	B細胞 CD19→ 	他の細胞から伝達された異物の特徴(抗原)を基に抗体が作られ、貪食を補助します ＜特徴＞細胞表面にCD19というタンパク質をもつ
	T細胞 	他の細胞から伝達された異物の特徴を基に、がん細胞やウイルスに感染した細胞を攻撃して排除します

●CAR T細胞療法

T細胞はがん細胞と結合することで、がん細胞を攻撃できるようになります。しかし、T細胞が弱まったり、がん細胞がT細胞から逃れる術をもったりして、十分に攻撃できなくなることがあります。そこで、T細胞ががん細胞をしっかりと認識して攻撃できるように、T細胞を改変して投与するのがCAR T細胞療法です。

患者さんの血液から取り出したT細胞に遺伝子導入によって「CAR(キメラ抗原受容体)」を取り付けたT細胞をCAR T細胞といい、患者さんの体内でがん細胞を攻撃する治療法です。

日本では2019年から行われており、イエスカルタはこのCAR T細胞療法のひとつです。



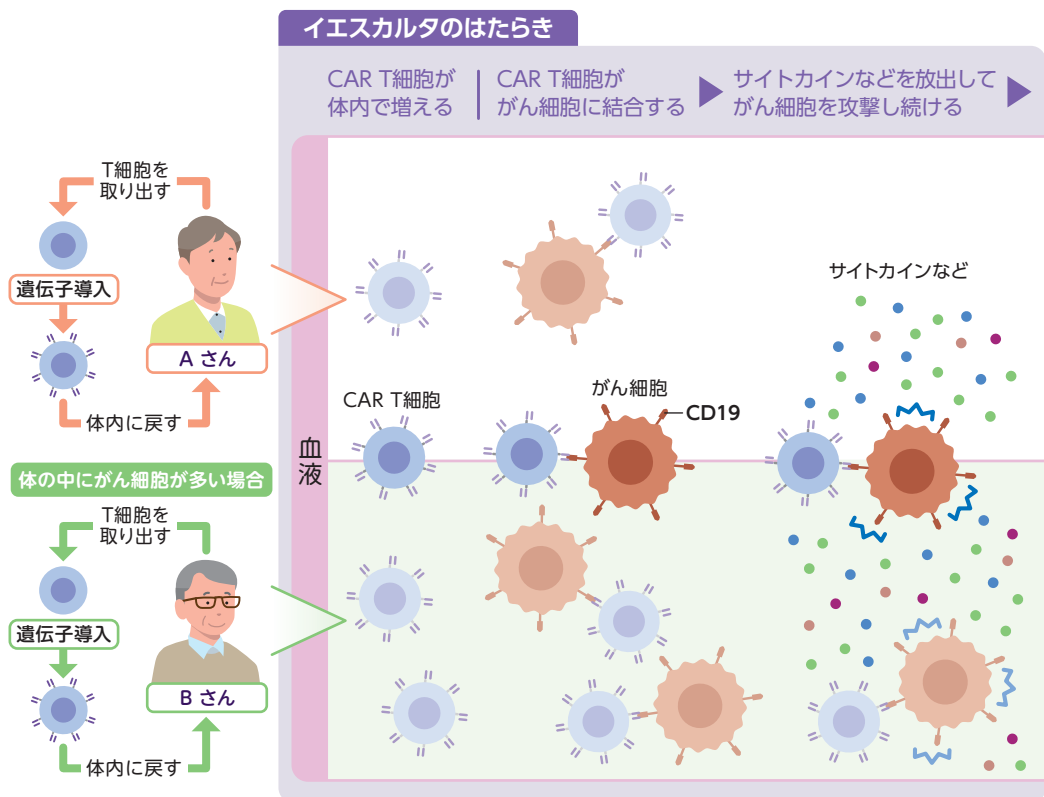
イエスカルタについて

DLBCLなどの多くのB細胞性リンパ腫の細胞表面には、「CD19」というタンパク質が発現しています。

イエスカルタは患者さんのT細胞にCARを遺伝子導入することで、細胞表面にCD19をもつがん細胞を選択的に攻撃できるようにした製品です。

イエスカルタを投与すると、がん細胞の表面にあるCD19に結合し、サイトカインやタンパク質などを放出してがん細胞を攻撃し排除します。

イエスカルタは患者さんの体内で増え、1回の投与でがん細胞を直接攻撃し続けるとともに、免疫や炎症にかかわるサイトカインと呼ばれる物質を産生することで、他の免疫細胞のはたらきを活発にして攻撃を強めます。



(イメージ)

1 Morris EC et al. Nat Rev Immunol. 2022 Feb;22(2) 85-96.
2 Li Y, et al. Front Pharmacol. 2022;13. doi:10.3389/fphar.2022.950923.



この免疫のはたらきが強くなりすぎると、産生された炎症にかかわるサイトカイン「炎症性サイトカイン」が正常な細胞も攻撃し、体内のさまざまな部位で炎症が起こります。これを「サイトカイン放出症候群(CRS)」(12ページ)といいます。また、炎症性サイトカインやCAR T細胞が中枢神経(脳)に作用して症状を起こすことを「神経系事象」(13ページ)といいます。がん細胞が多いと炎症性サイトカインも多く産生されるため、CRSや神経系事象が強く出やすいといわれています。また、CD19はがん細胞以外に正常なB細胞にも発現しており、イエスカルタは正常なB細胞も攻撃します。正常なB細胞が減ることで、ガンマグロブリンなどが減少し、感染症にかかりやすくなります(14ページ)。

副作用の発現 (12ページ以降をご参照ください)

免疫細胞が活性化され
炎症性サイトカインを放出

CRS
12ページ

炎症性サイトカイン
などが脳や神経を刺激

神経系事象
13ページ

炎症性サイトカイン

活性化した
免疫細胞

CRS

CRS

中枢
神経

神経系事象

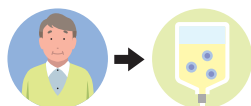
神経系事象

1 イエスカルタによる治療スケジュール

① イエスカルタによる治療について説明をうけます

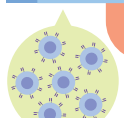
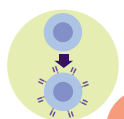


② 医療機関で患者さん自身の白血球を採取します



白血球アフェレーシス(10ページ):
3~4時間

CAR遺伝子を
導入します



CAR T細胞を
増やします

③ 製造施設に輸送、白血球からT細胞を選び、イエスカルタを製造

④ 患者さん専用のイエスカルタができ上がり、医療機関に到着

⑤ イエスカルタによる治療をより効果的に行うため、リンパ球除去化学療法(11ページ)を行います



イエスカルタ投与5日前から、
3日間連続

⑥ イエスカルタを投与します(11ページ)



⑦ 投与後の経過観察を行います



特に重要な副作用の観察:
少なくとも4週間

⑧ その後も経過観察を継続します



2 | イエスカルタによる治療

① イエスカルタによる治療を受けることができる方

イエスカルタの適応症

以下の再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫

- びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
- 原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫
- 形質転換濾胞性リンパ腫
- 高悪性度B細胞リンパ腫

ただし、CD19抗原を標的としたCAR T細胞療法（免疫細胞）の治療歴がない方で、抗がん剤による治療を1回以上うけたものの奏効（きこう）が得られなかった方、又は再発した方に限ります。

下記に該当する方は、イエスカルタによる治療を受けることができない場合があります。白血球アフェレーシスなどイエスカルタによる治療の準備をはじめる前に、医師などにご相談ください。

イエスカルタによる治療にあたって注意が必要な方

- B型・C型肝炎ウイルスキャリア又はB型・C型肝炎と診断されたことのある方、HIV感染が確認されている方
- 感染症を合併している方
- 高齢の方
- 妊娠している方、その可能性のある方
- 授乳中の方

これ以外にも注意が必要な条件があり、医師の判断によりイエスカルタによる治療を行わないことがあります。



② イエスカルタを製造する前の準備

イエスカルタの製造に使用する患者さん自身の白血球を取り出します。そこで行われるのが白血球アフェレーシスです。

白血球アフェレーシスでは、血液を体外に移動させ（採血）、血球分離装置を使って白血球を取り出し、その他の血液を体内に戻します（返血）。

この採血・返血を行うために、太い血管に針を刺します（首、腕、足の付け根の血管）。

白血球アフェレーシスには3～4時間かかります。

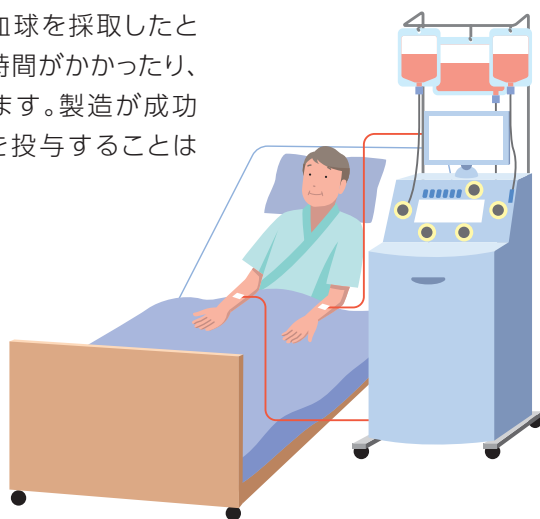
白血球アフェレーシスの副作用

- 倦怠感^{けん たい かん}
- 手足のしびれ
- 口周りや頬のしびれ
- めまい
- 吐き気^{い しき そう しつ}
- 嘔吐^{おう と} など

重篤な場合^{い しき そう しつ}：意識喪失、失禁がみられることもあります。

これらの副作用がみられた場合は、医師、看護師などに伝えてください。

白血球アフェレーシスにて白血球を採取したとしても、イエスカルタの製造に時間がかかったり、製造が成功しないことがあります。製造が成功しない場合は、イエスカルタを投与することはできません。





③ イエスカルタ投与前～投与後

イエスカルタ投与前のリンパ球除去化学療法について

イエスカルタを投与する前に体内の主にリンパ球を減らし、イエスカルタの治療をより効果的に行えるように、3日間、抗がん剤を投与します（リンパ球除去化学療法といいます）。この前処置は、血液中のリンパ球数などを確認したうえで、必要に応じて行われます。また、抗がん剤によって起こりうる副作用については、担当医師から、別途説明があります。

イエスカルタ投与前

治療前に患者さんの状態を確認します。

- ・リンパ球除去化学療法によって重篤な副作用（特に肺障害、心障害、低血圧）が認められた場合、その副作用から回復しているか
- ・感染症にかかっていないか

イエスカルタ投与1時間ほど前に、投与による副作用（インフュージョンリアクション：発熱、悪寒、吐き気、発疹、全身のむくみ、血圧低下、呼吸困難など）を軽くするためのお薬（解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤など）を投与します。前もってお薬を投与した場合でも、インフュージョンリアクションがあらわれることがあります。

イエスカルタ投与中

イエスカルタによる治療では、30分以内の点滴（静脈注射）を1回行います。イエスカルタ投与中に、インフュージョンリアクションがあらわれることがあります。

イエスカルタ投与後

イエスカルタの投与により、「サイトカイン放出症候群」（12ページ）、「神経系事象」（13ページ）などの重篤な副作用があらわれることがあります。しばらくの間入院して経過観察を行います。CAR T細胞は患者さんの体内で増えて、1回の投与でがん細胞を攻撃し続けるという特徴があるため、体内にCAR T細胞があるうちは副作用に注意が必要です。

投与中や投与後に気になる症状がみられたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に伝えましょう。退院後であっても少なくともイエスカルタ投与から4週間は、すぐに受診できるようにしてください。

3 イエスカルタの副作用

① サイトカイン放出症候群(CRS)^{シーアールエス}

イエスカルタは、がん細胞を直接攻撃するとともに、免疫や炎症にかかわるサイトカインと呼ばれる物質を産生することで他の免疫細胞のはたらきを活発にして、攻撃を強めます。この免疫反応が強くなりすぎると、多量に分泌されたサイトカインによって正常な細胞も攻撃を受け、体内のさまざまな部位で炎症が起こります。これをサイトカイン放出症候群(CRS)といいます。

発現時期

イエスカルタを投与してから、数日以内にあらわれることが多い副作用です。

主な症状

- 発熱、寒気がして体が震える
- 体がだるい、脱力感
- めまい、立ちくらみ
- 全身のむくみ、尿量が減る
- 息切れ、息苦しい
- 呼吸が荒い、呼吸が速い
- 意識の低下、消失
- 胸の不快感、動悸
- 脈が速くなる、脈がとぶ、脈が遅くなる
- 唇、手足の指先が青紫色になる
- 血圧低下
(確認のため、血圧を測定します)
など



重篤なCRSが発症して、集中治療室での治療が必要になることがあります。これらの症状がみられたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に伝えましょう。



② 神経系事象

イエスカルタ投与後に、神経や脳に関係する症状や精神状態の変化が起こることがあります。これを神経系事象といいます（ICANS^{アイキャンズ}といわれることもあります）。神経系事象の症状は多岐にわたりますが、患者さん本人の他、ご家族など周囲の方々が気づくこともあるかもしれません。事前に周囲の方々にも伝えておき、症状があらわれていないか確認してもらいましょう。

発現時期

イエスカルタを投与してから数日～1ヵ月以内に起こることが多い副作用です。CRSと同時にあらわれたり、CRSが治まった後に起きることもあります。CRSが起きていなくても、神経系事象があらわれることがあります。



主な症状

- 意識の低下、消失
- 考える力、記憶力の低下
- 錯乱状態
- 異常な行動
- けいれん
- 自分の意思とは関係なく体が動く
- 言葉が理解できない
- 言葉で表現できない
- 感覚が鈍くなる
- 幻覚、妄想^{ばん かく もう そう}
- 頭痛
- 眠りやすくなる
- 不眠症
- 興奮状態
- 不安
- ふらつき、頭が回っている感じ
- 手足のふるえ、首のふるえ など

重篤な神経系事象が発症して、集中治療室での治療が必要になることがあります。これらの症状がみられたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に伝えましょう。

③ その他の注意すべき副作用

イエスカルタによる治療後では、白血球などの免疫細胞とともに赤血球や血小板が減ることがあり、長期にわたってその状態が持続することもあります。その結果、下記の副作用(感染症、貧血、出血)が起きやすくなります。

定期的に血液検査を行いますので、主治医の先生に受診頻度を確認してください。

感染症

白血球やガンマグロブリン*が減少することにより、びょうげんたい病原体(細菌、ウイルス、真菌など)から体を守る免疫力が低下し、さまざまな感染症にかかりやすくなります。

* ガンマグロブリン: 病原体などの異物を排除するタンパク質で、B細胞から作られます。

発熱、せき、鼻水、嘔吐、下痢、腹痛、倦怠感

などの症状があらわれることがあります。

手洗い、うがい、マスク装着、人ごみを避けるなど感染対策をしっかり行いましょう。



貧血

赤血球(体中に酸素を運んでいます)が減少することにより、**立ちくらみ、息切れ、めまい、疲れやすい**などの貧血の症状があらわれることがあります。起き上がるときや、立ち上がるときは、ゆっくり動きはじめるようにしましょう。

出血

血小板(出血を止める役割があります)が減少することにより、血が止まりにくくなるため、**青あざ**がでやすくなったり、**歯ぐきからの出血、鼻血**などがみられることがあります。

転んだり、ケガをしないように注意しましょう。



③ その他の注意すべき副作用

腫瘍崩壊症候群

イエスカルタによる治療後に、腫瘍崩壊症候群があらわれることがあります。腫瘍崩壊症候群は、がん（腫瘍）細胞が短期間で大量に死滅（崩壊）したときに起きます。血中の尿酸値が上昇するとともに、リン、カリウム濃度の上昇やカルシウム濃度の減少などの電解質異常が起こり、血液が酸性になる、腎臓からの尿の産生が減少するなどの異常を示します。重篤な場合は腎不全をおこす可能性もあります。治療後は血液検査を行い、高尿酸血症や電解質異常が起きていないかを確認します。

④ その他の注意すべき事象

二次性悪性腫瘍

イエスカルタを含むがん治療薬や放射線療法の作用により二次性の悪性腫瘍が発症する可能性があります。早期発見のために、治療後は定期的に検査を行います。



その他の注意すべき副作用などがみられたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に連絡してください。

4 日常生活での注意点



体に異常を感じたら

すぐに病院に連絡しましょう。

他の医療機関にかかるとき

イエスカルタによる治療を受けたことを伝えてください。次ページの「イエスカルタ連絡カード」を活用してください。

意識低下や運動障害など 神経系事象に対する注意点

イエスカルタによる治療後、意識の低下や運動障害が起こることがあります。治療後しばらくは、自動車の運転や、危険をともなう機械の操作は行わないようにしてください。また事前に、神経系事象が起こる可能性があることを周囲の方々に伝え、協力をお願いしておきましょう。



ワクチン接種について

イエスカルタによる治療後しばらくは、生ワクチンの接種はできません。

妊娠について

妊娠する可能性のある女性は、イエスカルタ投与前のリンパ球除去化学療法終了後6ヵ月間は適切な避妊を行ってください。

授乳について

授乳中の女性は、授乳の継続又は中止について担当医師の指導を受けてください。

血液、臓器、組織、細胞は提供しない

移植のための血液、臓器、組織、細胞は提供できません。

イエスカルタ連絡カード



- 裏表紙の「イエスカルタ連絡カード」をはがし、緊急連絡先などのすべての項目を担当医師に確認のうえ記入してください。
- 緊急時の対応に備えるために、外出時にはこのカードを必ず携帯してください。
- 他の医療機関を受診する際は、このカードでイエスカルタによる治療を受けたことを伝えてください。



イエスカルタによる治療を受ける患者さんご家族のためのサイト

「イエスカルタ.jp」のご案内

イエスカルタの情報は、下記WEBサイトにも掲載しております。

<https://www.yescarta.jp/patients/>



こちらのWEBサイトは、スマートフォンでも
ご覧いただけます。



神経系事象の早期発見のために

神経系事象は、ICANSともいわれ、イエスカルタによる治療を行うにあたって注意が必要な副作用のひとつです。

早期に発見し、しっかりに対応することができれば、多くの場合、一過性の経過で改善しますが、ときに集中治療室での対応が必要なこともあります。

ここでは、神経系事象を早期発見するためのポイントや、ご家族など身近な方にここがけていただきたいことを紹介しています。

早期発見のために世界的に使用されている「神経系事象チェックシート(ICEスコアアレンジ版)」を掲載していますので、看護師に相談しながらつけてみましょう。

身近な方をお願いしたいこと

看護師に相談の上、患者さんと積極的にコミュニケーションをとみましょう。

入院期間中、患者さんと積極的にコミュニケーションをとり、いつもと様子が違うか確認することを検討ください。

みなさんから見て、「少し変だな?」と感じたらすぐに医療従事者にお伝えください。

患者さんの性格やいつもの状態をよくわかっているみなさんのほうが、気づいていただける可能性があります。

例) 会話のつじつまが合わない、SNSの反応が鈍い



ご不明点がありましたら、看護師に相談してください。

神経系事象チェックシートについて

このチェックシートは、5項目からなる神経系事象の評価ツールで、通常、入院中の神経系事象がみられやすい期間に1日1～2回行います。

点数を合計して、神経系事象の兆候がないかを看護師と一緒にチェックします。熱があったり、体がだるくても、このチェックシートは行いますので、頑張りましょう。

チェック項目	点数
現在の年を言えますか？	1点
現在の月を言えますか？	1点
ご自宅がある市(区)を言えますか？	1点
ここの病院名を言えますか？	1点
看護師が指差した物の名前を3つ言えますか？(例：時計、イス、机など)	3点(各1点)
看護師の指示に従えますか？(例：指を1本立ててください)	1点
簡単な文章を書けますか？ (イエスカルタ投与前から文章が乱れていないことを確認します)	1点
100から10ずつ引き算ができますか？	1点

Lee DW, et al. Biol Blood Marrow Transplant. 2019; 25(4): 625-638.より作成

神経系事象チェックシート記入例

チェック項目	イエスカルタ投与前 10月 1日 (9:00)	10月 1日 (18:00)	月
今日は何年何月か言えますか？	✓✓	✓✓	○
ご自宅がある市(区)を言えますか？	✓	✓	○
ここの病院名を言えますか？	✓	✓	○
看護師が指差した物の名前を3つ言えますか？	✓✓✓	✓✓✓	○
看護師の指示に従えますか？	✓	✓	○
簡単な文章を書けますか？ (例：今日は寒いです、など) ※ 毎回、同じ文章を書いてください	今日は寒いです	今日は寒いです	
	✓	✓	○
100から10ずつ引き算ができますか？	✓	○	○
合計点	10点	9点	

回答できた場合はチェックを記入
チェックごとに1点



いつも通りに書くことができれば1点

合計点を算出

神経系事象チェックシート

チェック項目	イェスカルタ投与前 月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)
今日は何年何月か 言えますか？	年 月	○ ○	○ ○	○ ○
ご自宅がある市(区)を 言えますか？	○	○	○	○
ここの病院名を 言えますか？	○	○	○	○
看護師が指差した物の 名前を3つ言えますか？	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
看護師の指示に 従えますか？	○	○	○	○
簡単な文章を 書けますか？ (例：今日は寒いです、など) ※ 毎回、同じ文章を書いて ください				
	○	○	○	○
100から10ずつ 引き算ができますか？	○	○	○	○
合計点	点	点	点	点

ICEスコアのチェック項目を平易な文章に変更しています。

月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)
○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
点	点	点	点	点	点

神経系事象チェックシート

チェック項目	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)
今日は 何年何月 か 言えますか？	(年) (月)	<input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/>
ご自宅がある 市(区) を 言えますか？	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ここの 病院名 を 言えますか？	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
看護師が指差した物の 名前を3つ言えますか？	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
看護師の指示に 従えますか？	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
簡単な文章を 書けますか？ (例：今日は寒いです、など) ※ 毎回、同じ文章を書いて ください				
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
100から10ずつ 引き算ができますか？	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計点	点	点	点	点

月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)	月 日 (:)
○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
点	点	点	点	点	点

患者さんへ

イエスカルタ

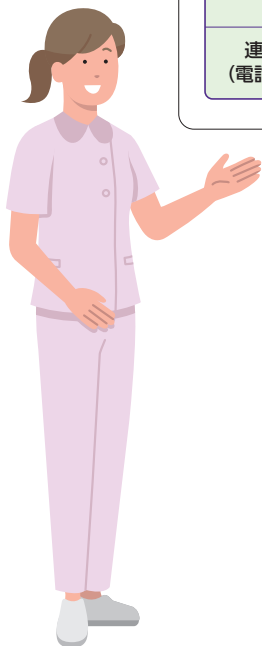
イエスカルタ 連絡カード

- このカードは**常に携帯**してください。
- イエスカルタによる治療を受けたことを、受診する医療機関のスタッフに**必ず伝えて**ください。

お名前

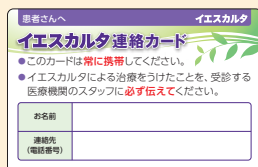
連絡先
(電話番号)

▲ここからはがしてお使いください



イエスカルタ連絡カードのご利用方法

- ① キリトリ線からこのページを切りはなします
- ② 切り取ったページの裏面にある「イエスカルタ連絡カード」を、ゆっくりはがします
- ③ 連絡カードに、あなたのお名前・連絡先・緊急連絡先をご記入ください
- ④ 記入したカードは、お財布やカードケースなどに入れて、常に携帯してください



患者さんへ イエスカルタ

イエスカルタ連絡カード

- このカードは常に携帯してください。
- イエスカルタによる治療を受けたことを、受診する医療機関のスタッフに必ず伝えてください。

お名前	
連絡先 (電話番号)	



ギリアド・サイエンシズ株式会社

イエスカルタ®はKite Pharma, Inc.の登録商標です

YES25RN1073PA
2025年10月作成

● 発熱(38℃以上) ● 意識がぼんやりする ● 息苦しい、息切れ ● 言葉が理解できない ● 体がだるい、倦怠感 ● 言葉で表現できない ● めまい ● ひどい吐き気や下痢 ● 簡単な文章がいつも通りに書けない

このような症状があらわれたら、
中面の緊急連絡先へ連絡してください。

患者さんへ

イエスカルタ

イエスカルタ連絡カード

- このカードは**常に携帯**してください。
- イエスカルタによる治療を受けたことを、受診する医療機関のスタッフに**必ず伝えて**ください。

お名前	
連絡先 (電話番号)	

医療関係者の方へ

この患者さんはイエスカルタの投与を受け、経過観察中です。

- イエスカルタは、CD19陽性細胞を標的としたCAR T細胞製品です。
- イエスカルタ投与後は、**サイトカイン放出症候群(CRS)**、**神経系事象**、**重篤な感染症**などがあらわれる可能性があります。
- この患者さんは、血液、臓器、組織及び細胞の提供者(ドナー)となることはできません。
- **治療を行う前に**、詳細が必要な場合は、下記の医療機関に連絡してください。

ギリアド・サイエンシズ株式会社

有害事象の発生が疑われる時は、下記お問い合わせ先へCOI番号又は
Kite Patient IDと共にご連絡いただき、有害事象の報告にご協力ください。
TEL:0120-506-295 受付時間:9:30~17:30(土・日・祝日及び会社休日を除く)

イエスカルタによる治療に関する緊急連絡先

イエスカルタ投与日	年 月 日
医療機関名	
電話番号	
診療科・担当医	
COI番号又は Kite Patient ID*	

*イエスカルタを投与した患者さんに付与される識別番号です